

国内四半期自転車生産・輸出入状況 (2021年1~3月)

はじめに

本稿は、我が国の自転車生産・輸出入の変化の模様を的確に把握するため、四半期毎の動きに焦点を当て、特に前年同期との比較を主体として調査を行ったものである。但し、前年同期との比較を主体とするとはいうものの、自転車販売には季節性がある事も考慮する必要がある。

2021年1~3月期の我が国の自転車生産状況は、総生産台数・総生産金額とも対象とする2019年4~6月以降で最高となった。また2021年1~3月期の我が国の自転車輸入状況について、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の輸入は、やはり総輸入台数・総輸入金額とも対象とする2019年4~6月以降で最高となった。

1. 我が国の自転車生産

1-1 総合的生産状況

経済産業省生産動態統計調査によると、2021年1~3月期の我が国の完成自転車総生産台数は256,817台であり、前年同期と比較すると12.0%増加した。この2021年1~3月期の256,817台という数値は、対象8四半期の中では最も多い数値である。これらの模様を、過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-1及び表1-1-2に示す。

表1-1-1 我が国自転車総生産台数の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
総生産台数(台)	205,117	193,732	240,374	256,817
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
総生産台数(台)	195,377	179,318	253,272	229,366

出典：経済産業省生産動態統計調査(2019年2020年数値は確定値 2021年数値は原稿執筆時点数値)

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、生産統計数値は全て同様。

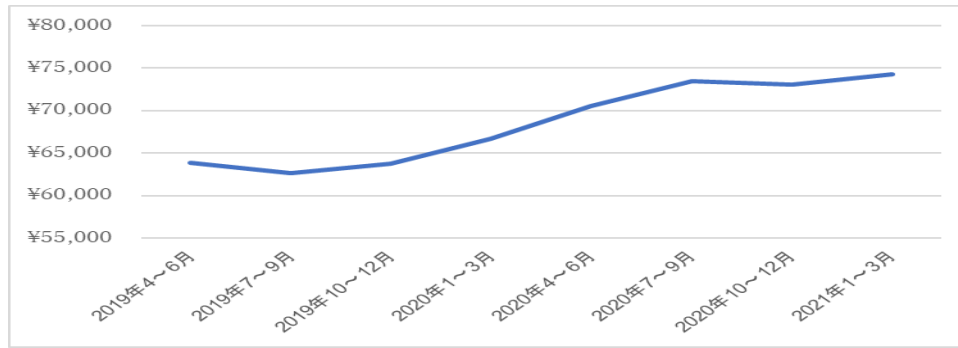
表1-1-2 我が国自転車総生産台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	9,740	14,414	-12,898	27,451
前年同期比(%)	5.0	8.0	-5.1	12.0

前年同期と比較した四半期毎総生産台数は、前四半期には減少していたものの、それ以外の四半期は増加を示している。

続いて総生産平均単価を見る。対象としている2019年4~6月期から2021年1~3月期までの8四半期の総生産平均単価の推移を図Aに示す。

図A 総生産平均単価の推移



総生産平均単価は2019年7~9月期を底として、それ以降上昇基調にあることがわかる。

次に総生産平均単価の動向を過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-3及び表1-1-4に示す。2021年1~3月期の完成自転車生産平均単価は74,316円となっており、対象8四半期の中では最も高い数値である。前年同期と比較した総生産平均単価は継続的に上昇している事もわかる。

表1-1-3 我が国自転車総生産平均単価の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
平均単価(円)	70,541	73,520	73,029	74,316
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均単価(円)	63,866	62,619	63,769	66,721

表1-1-4 我が国自転車総生産平均単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	6,675	10,901	9,259	7,595
前年同期比%	10.5	17.4	14.5	11.4

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総生産金額について見てみると、2021年1~3月の完成自転車総生産金額は190億8,553万4千円で、前年同期と比較すると24.7%増加し、対象8四半期の中では最高となっている。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-5及び表1-1-6に示す。前年同期と比較した総生産金額も継続的に増加している。

表1-1-5 我が国自転車総生産金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
総生産金額(千円)	14,469,152	14,243,263	17,554,162	19,085,534
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
総生産金額(千円)	12,478,014	11,228,708	16,151,026	15,303,561

表1-1-6 我が国自転車総生産金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	1,991,138	3,014,555	1,403,136	3,781,973
前年同期比%	16.0	26.8	8.7	24.7

1-2 車種別生産状況

以下に車種別の生産状況を見ていくが、経済産業省生産動態統計調査における自転車の車種区分は、「軽快車」「電動アシスト車」「その他」の三つである。

1-2-1 「軽快車」の生産状況

まず、「軽快車」の生産状況を以下に示す。2021年1～3月期の生産台数は52,110台で前年同期に比べ31.9%減少したことがわかる。前年同期との比較を見ると、継続的に減少しており、更にその減少幅も拡大傾向にあることがわかる。また、この車種の生産は秋から冬にかけて盛んで、春から夏にかけて低調であることもわかる。

表1-2-1-1 「軽快車」の生産台数の動向

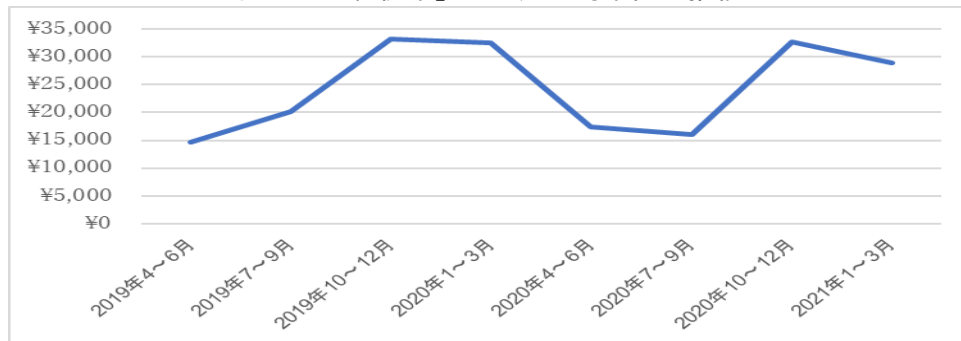
四半期	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月
生産台数(台)	32,119	29,418	52,840	52,110
前年同四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
生産台数(台)	35,450	38,362	74,306	76,566

表1-2-1-2 「軽快車」の生産台数の前年同期比

四半期	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月
実数比(台)	-3,331	-8,944	-21,466	-24,456
前年同期比%	-9.4	-23.3	-28.9	-31.9

続いて「軽快車」の生産平均単価を見る。対象としている2019年4～6月期から2021年1～3月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Bに示す。季節性が大変強く表れており、「軽快車」の生産は、秋から冬にかけて比較的高価なものを生産し、春から夏にかけては比較的安価なものを生産するという特徴がよくわかる。

図B 「軽快車」の生産平均単価の推移



次に「軽快車」の生産平均単価の動向を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-1-3及び表1-2-1-4に示す。2021年1～3月期の「軽快車」の生産平均単価は28,922円となっており、前年同期の32,417円から10.8%下落した事がわかる。前年同期と比較した生産平均単価は、前々四半期から下落が続いているが、3四半期前の上昇を含め、変化が比較的激しい。

表1-2-1-3 「軽快車」の生産平均単価の動向

四半期	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月
平均単価(円)	17,425	16,111	32,645	28,922
前年同四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
平均単価(円)	14,755	20,195	33,138	32,417

表 1-2-1-4 「軽快車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	2,670	-4,083	-493	-3,496
前年同期比%	18.1	-20.2	-1.5	-10.8

更に生産金額について見てみると、2021年1~3月期の「軽快車」の生産金額は15億710万円で前年同期と比較すると39.3%も減少した事が示されている。前々四半期は38.8%、前四半期は29.9%、各々減少した。3四半期続けて減少幅が大きくなっている。

表 1-2-1-5 「軽快車」の生産金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
生産金額(千円)	559,661	473,962	1,724,942	1,507,100
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
生産金額(千円)	523,065	774,710	2,462,332	2,482,062

表 1-2-1-6 「軽快車」の生産金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	36,596	-300,748	-737,390	-974,962
前年同期比%	7.0	-38.8	-29.9	-39.3

1-2-2 「電動アシスト車」の生産状況

「電動アシスト車」の生産状況を以下に示す。2021年1~3月期の生産台数は190,296台で前年同期に比べ39.2%増加したことがわかる。前年同期との比較を見ると、継続的な増加が示されている。尚、今四半期の190,296台という生産台数は対象8四半期の中では最高である。

表 1-2-2-1 「電動アシスト車」の生産台数の動向

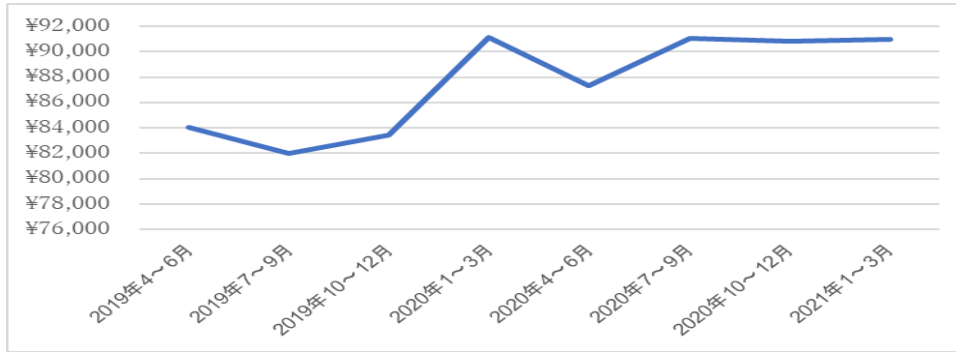
四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
生産台数(台)	154,896	147,213	170,569	190,296
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
生産台数(台)	136,258	122,408	157,552	136,752

表 1-2-2-2 「電動アシスト車」の生産台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	18,638	24,805	13,017	53,544
前年同期比%	13.7	20.3	8.3	39.2

続いて「電動アシスト車」の生産平均単価を見る。対象としている2019年4~6月期から2021年1~3月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Cに示す。2019年7~9月期に底を打ち、その後変動を伴いながら上昇し、直近3四半期はほぼ同水準にある事がわかる。

図C 「電動アシスト車」の生産平均単価の推移



次に「電動アシスト車」の生産平均単価の動向を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-2-3及び表1-2-2-4に示す。2021年1～3月期の「電動アシスト車」の生産平均単価は90,958円となっており、前年同期の91,090円から0.1%下落した事がわかる。前年同期と比較した生産平均単価は前四半期まで上昇が続いていたが今四半期は下落に転じている。

表1-2-2-3 「電動アシスト車」の生産平均単価の動向

四半期	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月
平均単価(円)	87,332	91,072	90,813	90,958
前年同四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
平均単価(円)	84,083	82,032	83,414	91,090

表1-2-2-4 「電動アシスト車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月
実数比(円)	3,249	9,040	7,400	-132
前年同期比%	3.9	11.0	8.9	-0.1

更に生産金額について見てみると、2021年1～3月の「電動アシスト車」の生産金額は173億896万1千円で、前年同期と比較すると39.0%増加した事が示されている。前年同期と比較した「電動アシスト車」の生産金額は継続的に増加している。

表1-2-2-5 「電動アシスト車」の生産金額の動向

四半期	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月
生産金額(千円)	13,527,432	13,406,968	15,489,890	17,308,961
前年同四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
生産金額(千円)	11,456,966	10,041,356	13,141,968	12,456,806

表1-2-2-6 「電動アシスト車」の生産金額の前年同期比

四半期	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月
実数比(千円)	2,070,466	3,365,612	2,347,922	4,852,155
前年同期比%	18.1	33.5	17.9	39.0

1-2-3 「その他」の生産状況

「その他」の生産状況を以下に示す。まず2021年1～3月期の生産台数は、14,411台で前年同期比10.2%減少した。前年同期と比較した「その他」の生産台数は減少が続いている。

表 1-2-3-1 「その他」の生産台数の動向

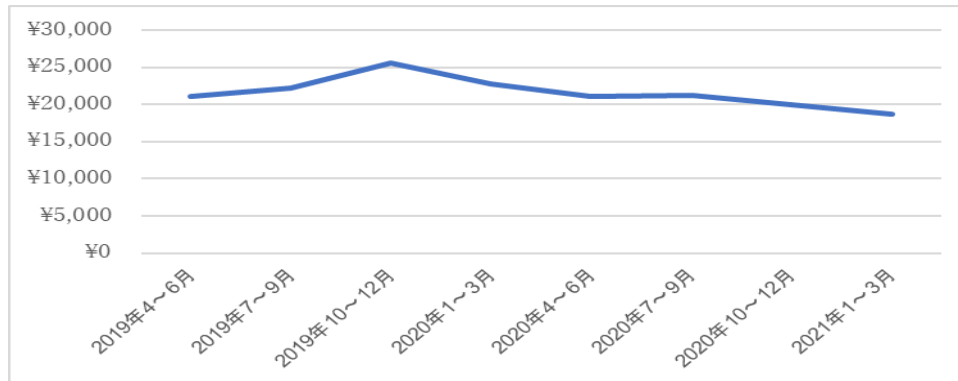
四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
生産台数(台)	18,102	17,101	16,965	14,411
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
生産台数(台)	23,669	18,548	21,414	16,048

表 1-2-3-2 「その他」の生産台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	-5,567	-1,447	-4,449	-1,637
前年同期比%	-23.5	-7.8	-20.8	-10.2

続いて「その他」の生産平均単価を見る。対象としている2019年4~6月期から2021年1~3月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Dに示す。2019年10~12月期を頂点として下落傾向にあるように見受けられる。

図D 「その他」の生産平均単価の推移



次に「その他」の生産平均単価の動向を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-3-3及び表1-2-3-4に示す。2021年1~3月期の「その他」の生産平均単価は18,699円となっており、前年同期と比較し17.7%下落した。前年同期と比較した生産平均単価は3四半期連続で下落している。

表 1-2-3-3 「その他」の生産平均単価の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
平均単価(円)	21,106	21,188	20,002	18,699
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均単価(円)	21,039	22,247	25,531	22,725

表 1-2-3-4 「その他」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	66	-1,059	-5,529	-4,026
前年同期比%	0.3	-4.8	-21.7	-17.7

更に生産金額について見てみると、2021年1~3月期の「その他」の生産金額は2億6,947万3千円で、前年同期比26.1%減少した。前年同期と比較した「その他」の生産金額は減少が続いている。

表 1-2-3-5 「その他」の生産金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
生産金額(千円)	382,059	362,333	339,330	269,473
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
生産金額(千円)	497,983	412,642	546,726	364,693

表 1-2-3-6 「その他」の生産金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	-115,924	-50,309	-207,396	-95,220
前年同期比%	-23.3	-12.2	-37.9	-26.1

2. 我が国の自転車輸入

2-1 総合的輸入状況

まず、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入台数について示す。2021年1~3月期の総輸入台数は、表2-1-1に示す通り1,846,646台であった。この1,846,646台という数値は対象8四半期の中では2020年4~6月期を僅かに上回り最高である。前年同期と比較すると、表2-1-2に示す通り28.2%増加した。前年同期と比較した輸入台数は増加が続いている。

表 2-1-1 我が国自転車総輸入台数の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2019年10~12月	2021年1~3月
総輸入台数(台)	1,843,084	1,424,070	1,601,144	1,846,646
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
総輸入台数(台)	1,631,661	1,375,387	1,392,616	1,440,671

出典：財務省貿易統計(2019年数値は確定値 2020年数値は確々報値 2021年数値は原稿執筆時点数値)

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、輸入統計数値は全て同様。

表 2-1-2 我が国自転車総輸入台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2019年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	211,423	48,683	208,528	405,975
前年同期比(%)	13.0	3.5	15.0	28.2

尚、参考までこの間のドル円為替レートを別表1に示しておく。円高傾向にある事がわかる。

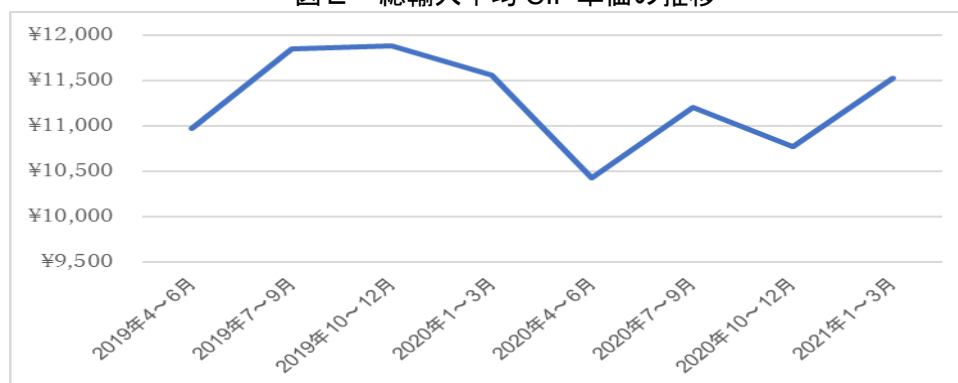
別表1 ドル円為替レート (税関長公示レート)

四半期別	1US\$=JPY
2019年4~6月	110.44
2019年7~9月	107.31
2019年10~12月	108.49
2020年1~3月	108.91
2020年4~6月	107.83
2020年7~9月	106.46
2020年10~12月	104.77
2021年1~3月	105.08

出典：公益財団法人日本関税協会 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている 2019 年 4～6 月期から 2021 年 1～3 月期までの 8 四半期の総輸入平均 CIF 単価の推移を図 E に示す。この期間内では 2020 年 4～6 月期が底であり、その後変動しながらも上昇傾向にあるように見受けられる。

図 E 総輸入平均 CIF 単価の推移



続いて総輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2021 年 1～3 月期の完成自転車輸入平均 CIF 単価は 11,532 円となっており、前年同期の 11,562 円から 0.3%下落した。前年同期比の総輸入平均 CIF 単価は下落が続いている。これらの模様を同じく過去 4 四半期にまでさかのぼり表 2-1-3 及び表 2-1-4 に示す。

表 2-1-3 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2021 年 1～3 月
平均 CIF 単価(円)	10,425	11,207	10,773	11,532
前年同四半期	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月
平均 CIF 単価(円)	10,971	11,849	11,880	11,562

表 2-1-4 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2021 年 1～3 月
実数比(円)	-546	-642	-1,108	-30
前年同期比%	-5.0	-5.4	-9.3	-0.3

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総輸入金額について見てみると、2021 年 1～3 月期の完成自転車総輸入 CIF 金額は 212 億 9,495 万 9 千円となり前年同期比 27.8%増加した。この 212 億 9,495 万 9 千円という数値は対象 8 四半期の中では最高である。前年同期と比較した総輸入 CIF 金額は前々四半期にはわずかな減少が示されたものの、それ以外は増加が示されている。これらの模様を過去 4 四半期にまでさかのぼり表 2-1-5 及び表 2-1-6 に示す。

表 2-1-5 我が国自転車総輸入 CIF 金額の動向

四半期	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2021 年 1～3 月
総輸入 CIF 金額(千円)	19,214,207	15,959,363	17,248,590	21,294,959
前年同四半期	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月
総輸入 CIF 金額(千円)	17,900,594	16,296,763	16,544,779	16,657,242

表 2-1-6 我が国自転車総輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2019年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	1,313,613	-337,400	703,811	4,637,717
前年同期比%	7.3	-2.1	4.3	27.8

2-2 車種別輸入状況

我が国の輸入における関税番号及び車種については次の別表2の通り分類されている。電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、電動アシスト車はこの中に含まれている。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

別表2 輸入における車種区分 関税番号

関税番号/品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12~16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12~16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18~24吋) ・Jr.MTB(18~24吋) ・一輪車(18~24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

以下に車種別輸入状況を示していくが、車種区分が比較的多いため、この中から「ミニサイクル」、底堅い需要のある「子供車」、重要と思われる「軽快車」及び「その他」、動向が注目される「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」に限って内訳をみてゆく。

2-2-1 「ミニサイクル」の輸入状況

「ミニサイクル」の輸入状況を表2-2-1-1及び表2-2-1-2に示す。2021年1~3月期の輸入台数は103,260台となり前年同期比50.3%と大きく増加した。この103,260台という数値は対象8四半期の中では最高である。前年同期と比較した輸入台数は増加が続いており、前四半期を除き、かなり大きく増加していることがわかる。

表 2-2-1-1 「ミニサイクル」の輸入台数の動向

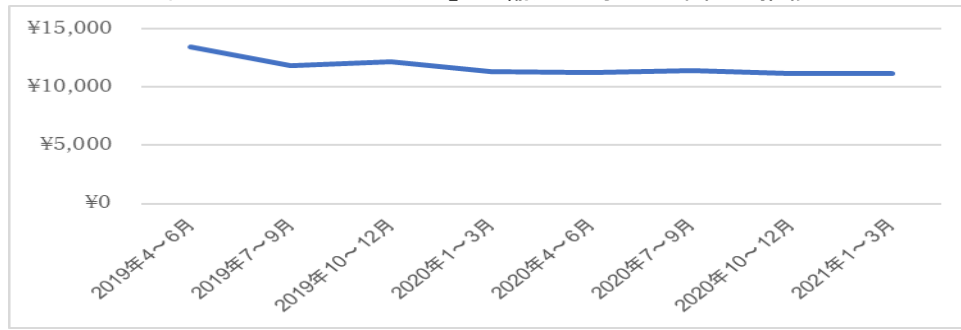
四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入台数(台)	95,373	87,573	67,493	103,260
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	76,990	62,279	63,597	68,702

表 2-2-1-2 「ミニサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	18,383	25,294	3,896	34,558
前年同期比(%)	23.9	40.6	6.1	50.3

次に「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている 2019 年 4~6 月期から 2021 年 1~3 月期までの 8 四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 F に示す。全体的に比較的安定的に推移している事がわかる。

図 F 「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2021 年 1~3 月期の輸入平均 CIF 単価は 11,170 円となっており、前年同期の 11,335 円から 1.5% 下落した。前年同期と比較した平均 CIF 単価は 4 四半期連続して下落している。これらの模様を同じく過去 4 四半期にまでさかのぼり表 2-2-1-3 及び表 2-2-1-4 に示す。

表 2-2-1-3 「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
平均 CIF 単価(円)	11,237	11,437	11,188	11,170
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均 CIF 単価(円)	13,471	11,831	12,176	11,335

表 2-2-1-4 「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	-2,234	-394	-988	-165
前年同期比%	-16.6	-3.3	-8.1	-1.5

更に輸入金額について見てみると、2021 年 1~3 月期の「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額は 11 億 5,337 万 6 千円となり前年同期比 48.1% と大きく増加した。この 11 億 5,337 万 6 千円という数値は対象 8 四半期の中では最高である。前年同期と比較した輸入金額は前四半期には 2.5% 減少したものの、それ以外の四半期は増加している。

表 2-2-1-5 「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入CIF金額(千円)	1,071,721	1,001,542	755,086	1,153,376
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入CIF金額(千円)	1,037,158	736,818	774,329	778,713

表 2-2-1-6 「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	34,563	264,724	-19,243	374,663
前年同期比%	3.3	35.9	-2.5	48.1

2-2-2 「子供車」の輸入状況

「子供車」の輸入状況を以下に示す。2021年1~3月期の輸入台数は360,949台となった。前年同期と比較した輸入台数は増加が続いており、その増加幅は次第に大きくなっていることがわかる。

表 2-2-2-1 「子供車」の輸入台数の動向

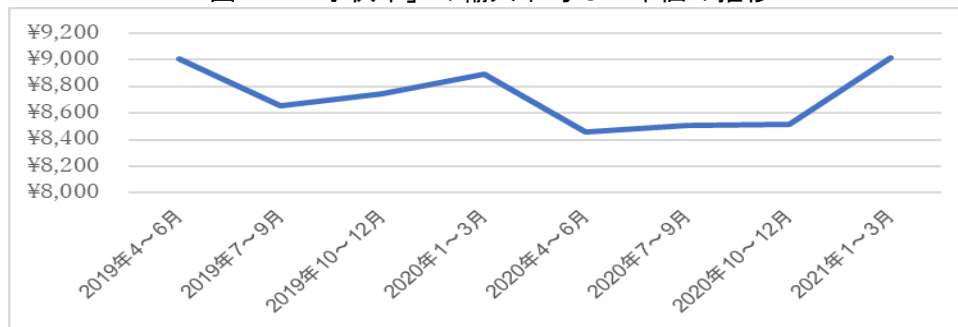
四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入台数(台)	489,434	405,065	415,228	360,949
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	449,883	357,722	343,683	248,815

表 2-2-2-2 「子供車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	39,551	47,343	71,545	112,134
前年同期比(%)	8.8	13.2	20.8	45.1

次に「子供車」の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2019年4~6月期から2021年1~3月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Gに示す。比較的変動が大きく、今四半期の上昇も際立っている。

図G 「子供車」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2021年1~3月期の「子供車」の輸入平均CIF単価は9,015円となっており、前年同期の8,891円から1.4%上昇した。2021年1~3月期の9,015円という数値は対象8四半期の中では最高である。

表 2-2-2-3 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
平均 CIF 単価(円)	8,458	8,507	8,514	9,015
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均 CIF 単価(円)	9,004	8,651	8,741	8,891

表 2-2-2-4 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	-546	-144	-226	125
前年同期比%	-6.1	-1.7	-2.6	1.4

更に輸入金額について見てみると、2021年1~3月期の「子供車」の輸入 CIF 金額は32億5,406万7千円となり前年同期比47.1%と大きく増加した。台数の場合と同様、前年同期と比較した金額も増加が続いており、その増加幅は次第に大きくなっている。

表 2-2-2-5 「子供車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	4,139,775	3,445,709	3,535,307	3,254,067
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	4,050,847	3,094,514	3,003,999	2,212,121

表 2-2-2-6 「子供車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	88,928	351,195	531,308	1,041,946
前年同期比%	2.2	11.3	17.7	47.1

2-2-3 「軽快車」の輸入状況

「軽快車」の輸入状況を以下に示す。2021年1~3月期には、468,713台の「軽快車」が輸入された。この468,713台という数値は対象8四半期の中では最高である。前年同期と比較すると前四半期まで減少が続いていたところ、今四半期は2.3%増加した事が示されている。

表 2-2-3-1 「軽快車」の輸入台数の動向

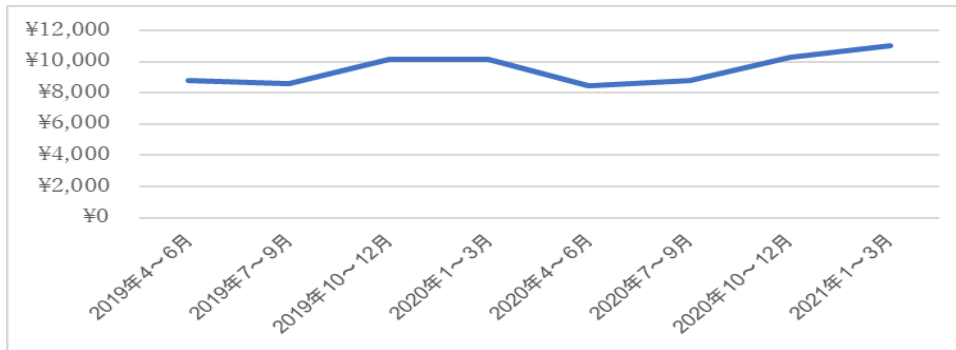
四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入台数(台)	372,429	252,574	364,167	468,713
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	373,720	339,589	384,076	458,020

表 2-2-3-2 「軽快車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	-1,291	-87,015	-19,909	10,693
前年同期比(%)	-0.3	-25.6	-5.2	2.3

次に「軽快車」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2019年4~6月期から2021年1~3月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図Hに示す。生産の場合と同様、季節性が表れており、秋から冬にかけて比較的高価なものを輸入し、春から夏にかけては比較的安価なものを輸入するという特徴がわかる。但し、変化の度合いは生産の場合より小さい。

図H 「軽快車」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2021年1~3月期の「軽快車」の輸入平均CIF単価は11,048円となっており、前年同期の10,149円から8.9%上昇した。この11,048円という数値は対象8四半期の中では最高である。対前年同期との比較では、3四半期連続で上昇したことが示されている。

表2-2-3-3 「軽快車」の輸入平均CIF単価の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
平均CIF単価(円)	8,444	8,777	10,304	11,048
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均CIF単価(円)	8,793	8,566	10,165	10,149

表2-2-3-4 「軽快車」の輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	-349	211	139	899
前年同期比%	-4.0	2.5	1.4	8.9

更に輸入金額について見てみると、2021年1~3月期の「軽快車」の輸入CIF金額は51億7,839万9千円であった。この51億7,839万9千円という数値は対象8四半期の中では最高である。前年同期と比較すると、それまで減少が続いていたものが、今四半期は11.4%増加したことがわかる。

表2-2-3-5 「軽快車」の輸入CIF金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入CIF金額(千円)	3,144,807	2,216,871	3,752,330	5,178,399
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入CIF金額(千円)	3,286,185	2,909,085	3,903,952	4,648,458

表2-2-3-6 「軽快車」の輸入CIF金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	-141,378	-692,214	-151,622	529,941
前年同期比%	-4.3	-23.8	-3.9	11.4

2-2-4 「その他」の輸入状況

スポーツ車や外装変速機付軽快車が含まれる「その他」の輸入状況を以下に示す。2021年1~3月期の輸入台数は742,917台であり、前年同期比30.0%増加した。この742,917台という数値は対象8四半期の中では最高である。前年同期と比較した輸入台数は前々四半期には減少が示されたものの、それ以外は増加している。

表 2-2-4-1 「その他」の輸入台数の動向

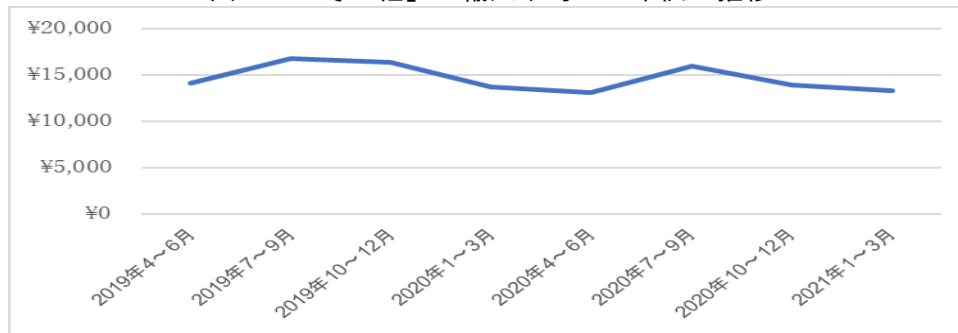
四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入台数(台)	687,571	478,504	522,659	742,917
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	562,632	482,381	462,746	571,308

表 2-2-4-2 「その他」の輸入台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	124,939	-3,877	59,913	171,609
前年同期比(%)	22.2	-0.8	12.9	30.0

次に「その他」の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2019年4~6月期から2021年1~3月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Iに示す。「軽快車」の場合とは若干異なり、7~9月期と10~12月期が比較的高く、1~3月期と4~6月期が比較的低い事がわかる。

図 I 「その他」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2021年1~3月期の「その他」の輸入平均CIF単価は13,285円となっており、前年同期の13,779円から3.6%下落した。前年同期と比較した輸入平均CIF単価は、4四半期連続で下落している。

表 2-2-4-3 「その他」の輸入平均CIF単価の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
平均CIF単価(円)	13,159	15,954	13,934	13,285
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均CIF単価(円)	14,090	16,831	16,399	13,779

表 2-2-4-4 「その他」の輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	-931	-877	-2,465	-494
前年同期比%	-6.6	-5.2	-15.0	-3.6

更に輸入金額について見てみると、2021年1~3月期の「その他」の輸入CIF金額は98億6,995万9千円となり前年同期比25.4%増加した。この98億6,995万9千円という数値は対象8四半期の中では最高である。前年同期と比較した輸入金額は、前四半期及び前々四半期には減少し、3四半期前と今四半期は増加が示されている。

表 2-2-4-5 「その他」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	9,047,994	7,633,918	7,282,554	9,869,959
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	7,927,487	8,118,954	7,588,415	7,872,311

表 2-2-4-6 「その他」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	1,120,507	-485,036	-305,861	1,997,648
前年同期比%	14.1	-6.0	-4.0	25.4

2-2-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況

最後に参考まで「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況を示す。2021年1~3月期の輸入台数は143,895台であり、前年同期比73.0%と大きく増加した。この143,895台という数値は2020年4~6月期を僅かに上回り対象8四半期の中では最高である。前年同期と比較した輸入台数は増加が続いている。

表 2-2-5-1 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入台数の動向

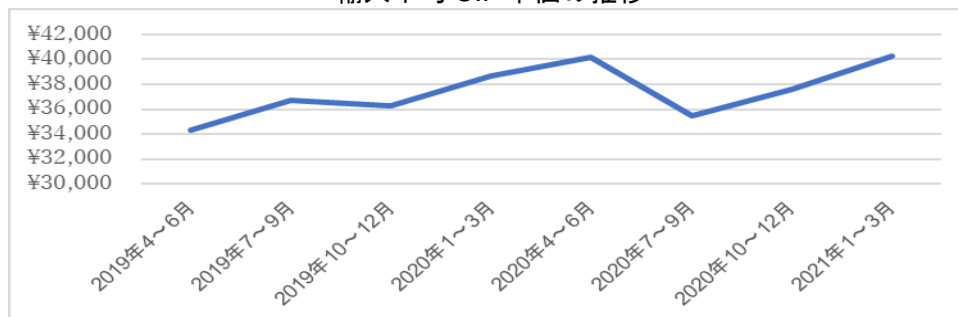
四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入台数(台)	143,870	125,204	140,222	143,895
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	84,074	98,639	117,500	83,172

表 2-2-5-2 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	59,796	26,565	22,722	60,723
前年同期比(%)	71.1	26.9	19.3	73.0

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2019年4~6月期から2021年1~3月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図Jに示す。2020年7~9月期に大きく下落した後、回復傾向が示されている。

図 J 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2021年1~3月期の「駆動原動として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価は40,256円となっており、対象8四半期の中では最高であり、また前年同期の38,664円から4.1%上昇した。前年同期比の輸入平均 CIF 単価は、前々四半期には下落したが、それ以外は上昇している。

表 2-2-5-3 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
平均 CIF 単価(円)	40,177	35,524	37,584	40,256
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均 CIF 単価(円)	34,330	36,743	36,280	38,664

表 2-2-5-4 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	5,847	-1,219	1,304	1,593
前年同期比%	17.0	-3.3	3.6	4.1

更に 2021 年 1~3 月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入 CIF 金額は 57 億 9,268 万 4 千円で、対象 8 四半期の中では 2020 年 4~6 月期を僅かに上回り最高となり、また前年同期比 80.1%と大きく増加した。前年同期と比較した輸入金額は台数の場合と同様、増加が続いている。

表 2-2-5-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	5,780,319	4,447,792	5,270,144	5,792,684
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	2,886,270	3,624,289	4,262,945	3,215,745

表 2-2-5-6 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	2,894,049	823,503	1,007,199	2,576,939
前年同期比%	100.3	22.7	23.6	80.1

3. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆どが中古車の途上国向け輸出であるため「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。2021 年 1~3 月の「国内向け数量」は 2,103,463 台となり、前年同期比 26.0%増加した。この 2,103,463 台という数値は対象 8 四半期の中では最高である。前年同期と比較した「国内向け数量」は増加が続いている。

表 3-1 「国内向け数量」の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
国内向け数量(台)	2,048,201	1,617,802	1,841,518	2,103,463
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
国内向け数量(台)	1,827,038	1,554,705	1,645,888	1,670,037

出典：経済産業省生産動態統計調査(2019年2020年数値は確定値 2021年数値は原稿執筆時点数値)

財務省貿易統計(2019年数値は確定値 2020年数値は確々報値 2021年数値は原稿執筆時点数値)

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

(生産には「電動アシスト車」を含み、輸入には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

表 3-2 も同様

表 3-2 「国内向け数量」の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	221,163	63,097	195,630	433,426
前年同期比(%)	12.1	4.1	11.9	26.0

4. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。

2021年1~3月期の総輸出台数は692,391台となり前年同期と比べると1.5%減少した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表4-1及び表4-2に示す。

表 4-1 我が国自転車総輸出台数の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
総輸出台数(台)	675,433	840,363	713,044	692,391
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
総輸出台数(台)	808,971	704,895	866,289	703,025

出典：財務省貿易統計((2019年数値は確定値 2020年数値は確々報値 2021年数値は原稿執筆時点数値)

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

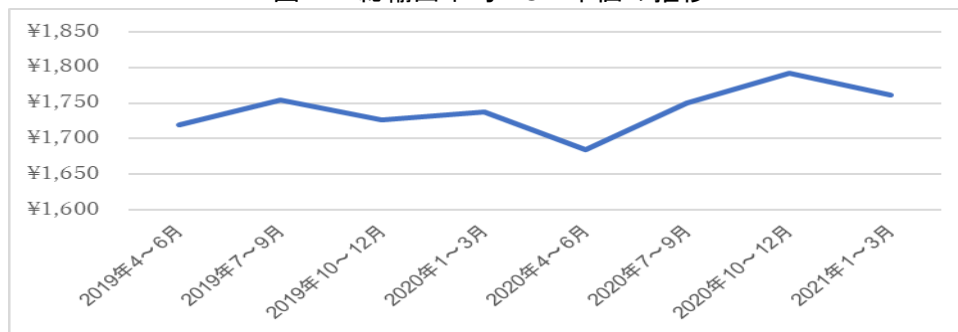
以下、輸出統計数値は全て同様。

表 4-2 我が国自転車総輸出台数の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(台)	-133,538	135,468	-153,245	-10,634
前年同期比(%)	-16.5	19.2	-17.7	-1.5

次に全ての車種の輸出平均FOB単価の推移を見る。対象としている2019年4~6月期から2021年1~3月期までの8四半期の総輸出平均FOB単価の推移を図Kに示す。

図K 総輸出平均FOB単価の推移



2021年1~3月期の完成自転車総輸出平均FOB単価は1,762円となっており、前年同期の1,737円から1.4%上昇した。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表4-3及び表4-4に示す。前年同期と比較した四半期毎総輸出平均FOB単価の変化は大きくはない。また、平均FOB単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 4-3 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
平均 FOB 単価(円)	1,685	1,750	1,792	1,762
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均 FOB 単価(円)	1,720	1,755	1,727	1,737

表 4-4 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(円)	-36	-5	65	24
前年同期比%	-2.1	-0.3	3.8	1.4

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

更に総輸出金額について見てみると、2021年1~3月期の完成自転車総輸出 FOB 金額は12億1,979万4千円となり前年同期比で0.1%減少した。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表4-5及び表4-6に示す。

4-5 我が国自転車総輸出 FOB 金額の動向

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,137,891	1,470,719	1,277,925	1,219,794
前年同四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,391,595	1,236,890	1,496,455	1,221,476

表 4-6 我が国自転車総輸出 FOB 金額の前年同期比

四半期	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
実数比(千円)	-253,704	233,829	-218,530	-1,682
前年同期比%	-18.2	18.9	-14.6	-0.1

尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

以 上